

## 令和4年度岡崎市防災会議 会議録

開催日時 令和5年3月3日（金）午後2時00分～午後3時00分

開催場所 岡崎市役所東庁舎2階大会議室

出席委員 中根康浩 稲波智子 岩月康男（代理） 西川雅規 松橋浩幸（代理）  
浦崎匠海（代理） 杉浦久直 小野川知秀（代理） 保本真吾 入谷賢  
塩谷武典 安藤直哉 鈴木聡 会津章一 清水康則 山本公德 伊藤茂  
國村一郎 岡田豊 太田憲明 高村俊史 浅岡悦子 長坂秀志  
三井正一（代理） 荒木裕子 浅野幸子 米村篤史 浦野愛 新海幹代  
森崎健吾 阿部年恭 酒井英二 加藤卓司

傍聴者 0名

説明のために出席した職員

市民安全部長 桑山拓也 土木建設部長 中田利隆  
防災課長 宮本佳久 河川課長 藤野真司  
防災課副課長 平松雅規 防災課防災企画課係長 伊藤浩貴  
防災課防災対策係 熊谷教道 防災課防災企画係主任主査 勝上徳哉  
防災課防災企画係主事 柴田智隼  
防災課防災企画係事務員 花木未来

会議次第

- 1 開会
- 2 あいさつ
- 3 議題
  - (1) 災害対策本部体制の見直し
  - (2) 地域防災計画の修正について
  - (3) 水防計画について
  - (4) 岡崎市の防災施策 今後の取組
- 4 その他
- 5 閉会

(議題及び議事の要旨)

■ 議 題

(1) 災害対策本部体制の見直し

防災課長 宮本佳久 「資料1」により説明

【中根会長】 委員の意見を求める  
(質疑なし)

(2) 地域防災計画の修正について

防災課長 宮本佳久 「資料2」「資料3」により説明

【中根会長】 委員の意見を求める  
【浅野委員】

消防団員等が参画した防災教育についてですが、消防団員の訓練している内容と地域の防災組織が求めている知識にズレを感じる部分もある。そういったところを考慮しながら、消防団員の方も学習の幅を広げていただくような形で、発展的な防災教育の場が作られると良いと思います。

また避難所等における各種対策についてですが、食や栄養に関しては、例えば災害時の乳児栄養については国際基準がございます。こうしたところをどのように考えるのか、また介護食の対応などもありますので、アレルギーに限定せず取り組まれると良いと思います。

(3) 水防計画について

河川課長 藤野真司 「資料3」により説明

【中根会長】 委員の意見を求める  
(質疑なし)

(4) 岡崎市の防災施策 今後の取組

防災課長 宮本佳久 「資料4」により説明

【中根会長】

事務局から説明のあったことのうち、災害ケースマネジメントの実施準備、良好な避難所環境の整備については、本市の今後の重点的な取り組みと考えています。

この取組を執り進める上での、注意点やアドバイスなどご意見を有識者である荒木委員、浦野委員、浅野委員より伺いたいと思います。

【荒木委員】

災害ケースマネジメントの取組は災害対応におけるひとつの出口であると思っています。

通常、防災は避難や耐震化といった短い時間軸に着目して進めがちですが、災害ケースマネジメントは被災後の事を想定して、避難だけでなく被災した状況から

どう生活を再建していくのかといった長いスパンを考えるとということだと思えます。これを実施できている自治体は多くはなく、岡崎市にとっても挑戦的な取り組みだと思えます。

災害対応の基本は、災害に巻き込まれた市民の方が『どういうことに困っているのか』、『どういう事態に巻き込まれているのか』という状況を正しく把握すること、そして、その状況を見越して必要な対応を考えるということだと思えます。そのためには、市役所の中の組織だけでなく、今日お集まりの方や市民活動をされている方等、多様な組織間で状況認識を合わせ、一緒に対応方法を考え乗り越えていくことが必要だと思えます。

#### 【浦野委員】

私共の団体は災害救援を専門しているということもあり、今年度も3つの被災地に関わらせてもらいましたが、今回挙げられた防災施策である災害ケアマネジメント、良好な避難所運営のテーマは、非常に重要であると考えております。

特に大災害の後、長期化する避難所だけでなく、避難所外の避難生活をする方も高い災害関連死のリスクを抱えています。この問題をきちんと捉え、確実な支援に繋げていく必要があり、そのためには支援を必要とする個人をいかに早く特定していくかという作業がとて重要であると感じております。

特に自ら支援を求める声が弱い方に関しては、いつまでたっても支援が始まらないという状況を見てきました。

今、特定非常災害になると、被災高齢者等把握事業ということで国の方から補助金が出て、専門職の人たちの協力を得ながら個別訪問ができるような仕組みがあります。しかし、住まいの改善から始まる生活再建に必要な支援を連続的な視野で見ることができる人でないと、その各戸のニーズを把握しきれない状況が考えられます。そのためにもそのような連続的な支援をイメージできる人達を地域内に増やす必要があると考えています。

このようなことを踏まえて、三者連携の在り方や庁内調整を進めていけると非常に意味のある取り組みに繋がると感じました。

#### 【浅野委員】

災害ケースマネジメントに関して、このような取り組みをせざるを得ない背景には、行政と民間や専門機関の間の連携、行政内での連携といったところの平常時からの連携の問題があり、それが災害時により一層顕在化するという事だと思えます。災害に特化してケースマネジメントの取組をするということは大事ではありますが、平常時からの取組の連動がかなりキーになるのではないかという印象であります。

避難所の良好な環境整備に関してはもちろん大事ですが、避難所外避難のケースもあるので、点在する避難者と繋がるために、行政と地域組織がどうやって支

援システムを作っていくのかという事が大事です。住民による避難所の自主運営という観点は大事だが、行政の手が足りないという理由で推進するのではなく、行政と地域住民の両者がどうやって効率良く助かっていくかという協働のシステム中で地域組織への協働を呼び掛けるという発想で取り組まないとうまくいかないと思います。

加えて、衛生・栄養・育児・介護といったケア水準の維持を考える必要があります。質の担保に繋げるためにも協働の支援システムの中に女性の参画の視点を如何に組み込むかを今一度考えて欲しいと思います。

【中根会長】 3名の委員さんからの意見について委員の意見を求める  
(質疑なし)

【中根会長】

次に、本市では令和3年度に「矢作川避難計画」を策定し、矢作川の氾濫の危険性が一定確率以上高まった際に、早期の避難情報を発信することとしています。

現在防災課では、本日お越しの豊橋河川事務所さんをはじめ気象台、隣接自治体と早期避難・広域避難のあり方について、今度協議していくとのことですが、今後の行政との関わり方や矢作川避難計画の実行性を高めるため、矢作川の河川管理者となる豊橋河川事務所の國村所長からご意見等をお願いします。

【國村委員】

大規模洪水に対しての避難計画の取組みである矢作川避難計画に対して、河川事務所としても必要な情報を提供できるように努力していく次第でございます。

計画の実効性を高めるには、市民の方の迅速な行動が不可欠である。そのためには、まず啓発・促進が行政に求められる事だと思います。

避難の判断は、一義的に河川の水位と雨の予測の情報によるところになると思いますが、矢作川の河川水位の予測は、せいぜい6時間先の予測が限界で、それでも予測の振れ幅があるのが現状です。24時間前での避難行動を開始するというのはかなりの見込みでの運用であり、苦慮している点だと認識しております。

こういう状況の中で、行動の遅れにつながらないように、1時間毎もしくは段階的に置かれている状況を見直しながら、避難行動と河川水位予測・雨の予測のバランスをどう取るかがポイントだと思います。

また、行政間の調整の場としては矢作川水防災協議会というような場もあるので、情報共有やトリガーとなる情報発信の協議の場として活用の検討をしてはどうでしょうか。

河川管理者としては、逃げ遅れて命に係わる事態を避けるという観点で引き続き

河川水位の予測精度の向上に努め、情報共有をしていきたいと思っております。

【中根会長】

國村委員に質問ですが、豊田市にある矢作川の鵜の首において、河川改修をしておりますが、本市への影響について、お聞かせ願えないでしょうか。

【國村委員】

当面の目標として、東海豪雨相当に耐えられるよう整備を目指しており、上流の矢作ダムの強化も含め、下流から順次堤防の強化を進めております。現在は岡崎市内の堤防を施工中であり、この整備が完了すれば、鵜の首を開いたからと言って、岡崎市だけが先に危険にさらされるという事はありません。

【中根会長】 國村委員の意見やここまで事項について委員の意見を求める  
(質疑なし)

## ■その他

【中根会長】

報告事項等ございませんか。

【事務局】

本市は台風14号において、初めて高齢者等避難という避難情報を全市に発令しましたが、その後、高齢者等避難についての問い合わせが多方面からが入りました。そこで、委員の皆様には暴風警報をトリガーとした全市的な高齢者等避難の発令の仕方について伺えればと思います。また、高齢者等避難の周知方法、実際の高齢者等避難の行動の在り方について意見があればお伺いしたいです。

【浅野委員】

東京の荒川流域の江東五区も荒川の氾濫が迫った際には、大変な避難を余儀なくされます。私はその中の一つの区（北区）で要支援者の避難行動を検討する協議会に参加しており、まさに過酷な協議をしているところです。人口も莫大ですので、国が示す警戒レベル以外に、独自の事前避難の呼びかけを検討するというところまで迫られています。資料等がホームページにアップされているので、参考にしてみてもどうでしょうか。

【中根会長】

ありがとうございます。この場では無くても、今後、お気づきになられた点をまたご連絡ください。